

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公開番号】特開 2003-218785 (P2003-218785A)
【公開日】平成 15 年 7 月 31 日 (2003.7.31)
【出願番号】特願 2002-13341 (P2002-13341)
【国際特許分類第 7 版】
H 0 4 B 7/26
【F I】
H 0 4 B 7/26 1 0 2

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 1 月 24 日 (2005.1.24)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】無線通信装置および通信相手探索方法

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】
無線による通信を行う機器の情報を収集して通信相手の探索を行う無線通信装置において、
問い合わせ信号を送信する問い合わせ信号送信処理手段と、
前記問い合わせ信号に対する応答信号を受信する応答信号受信処理手段と、
前記応答信号を送信した機器と通信を行う通信処理手段と、
所定の向きに無線信号を送信する指向性モードで前記問い合わせ信号を送信させ、無指向性モードで前記通信を行わせるように指向性を制御する制御手段と
を備えることを特徴とする無線通信装置。

【請求項 2】
無線による通信を行う機器の情報を収集して通信相手の探索を行う通信相手探索方法において、
問い合わせ信号を所定の向きに送信する指向性モードで行わせ、前記問い合わせ信号に対する応答信号を送信した機器と通信を無指向性モードで行わせるように指向性を制御することを特徴とする通信相手探索方法。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 1
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ブルートゥース機器などに係り、複数の機器のうち、所定の機器を指定してデータを伝送する無線通信装置および通信相手探索方法に関する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

そこで本発明は、ブルートゥース機器間で通信を確立する際に、相手機器を容易に選択することができる無線通信装置および通信相手探索方法を提供することを目的とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

【課題を解決するための手段】

上記目的達成のため、請求項１記載の発明による無線通信装置は、問い合わせ信号を送信する問い合わせ信号送信処理手段と、問い合わせ信号に対する応答信号を受信する応答信号受信処理手段と、応答信号を送信した機器と通信を行う通信処理手段と、所定の向きに無線信号を送信する指向性モードで問い合わせ信号を送信させ、無指向性モードで通信を行わせるように指向性を制御する制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

また、上記目的達成のため、請求項 2 記載の発明による通信相手探索方法は、問い合わせ信号を所定の向きに送信する指向性モードで行わせ、問い合わせ信号に対する応答信号を送信した機器と通信を無指向性モードで行わせるように指向性を制御することを特徴とする。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

この発明では、問い合わせ信号送信処理手段により、問い合わせ信号を送信し、応答信号受信処理手段により、問い合わせ信号に対する応答信号を受信し、通信処理手段により、応答信号を送信した機器と通信を行い、制御手段により、所定の向きに無線信号を送信する指向性モードで問い合わせ信号を送信させ、無指向性モードで通信を行わせるように指向性を制御する。したがって、相手の機器を認証する際には、指向性モードで通信し、認証後は、無指向性モードで通信するように切り替えるので、機器の向きや位置を考慮することなく、通信をすることが可能となる。

【手続補正 22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0083

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0083】

【発明の効果】

請求項1記載の発明によれば、問い合わせ信号送信処理手段により、問い合わせ信号を送信し、応答信号受信処理手段により、問い合わせ信号に対する応答信号を受信し、通信処理手段により、応答信号を送信した機器と通信を行い、制御手段により、所定の向きに無線信号を送信する指向性モードで問い合わせ信号を送信させ、無指向性モードで通信を行わせるように指向性を制御するようにしたので、機器の向きや位置を考慮することなく、通信をすることが可能となるという利点が得られる。

【手続補正 23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0084

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0085

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0087

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0088

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 28】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0089

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0089】

また、請求項2記載の発明によれば、問い合わせ信号を所定の向きに送信する指向性モードで行わせ、問い合わせ信号に対する応答信号を送信した機器と通信を無指向性モードで行わせるように指向性を制御するようにしたので、機器の向きや位置を考慮することなく、通信をすることが可能となるという利点が得られる。

【手続補正 29】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0090

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 30】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 31】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0092

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 32】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 9 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 3 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 9 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 3 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 9 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 3 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 9 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 3 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 9 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 3 7】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 9 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】